

ゆ く は し け い か く
行橋市こども計画
—こども版—

令和7年度～令和11年度



令和7年3月
行橋市



行橋市こども計画ってなに？

行橋市では、こども・若者の目線に立った取り組みや、こどもを支える人たちをサポートするために行橋市こども計画を作りました。行橋市がこどもに関する取り組みや、サポートをするときに、必要なことや大事にしていこうと書かれています。

行橋市が大事にしていこうこと(基本理念)

すべてのこどもが
健やかに育つことができる環境づくり

みなさんが安心して楽しく成長できるように、
行橋市は「子育てしやすいまち」を目指します。



行橋市こども計画ができるまで

- 国は、2023年度(令和5年度)から始まった「こども基本法」や、「こども大綱」はすべてのこどもや若者が将来にわたって幸せに生活を送ることができる社会をめざしています。これを「こどもまんなか社会」と呼んでいます。
- 「こどもまんなか社会」を実現するために、市町村は「市町村こども計画」の策定に努めることとされました。そのため、こどもや若者に関わる他の計画をまとめて「行橋市こども計画」を新しくつくりました。

だれのための計画なの？

行橋市に住むすべてのこども・若者やそのまわりのおとなのための計画です。

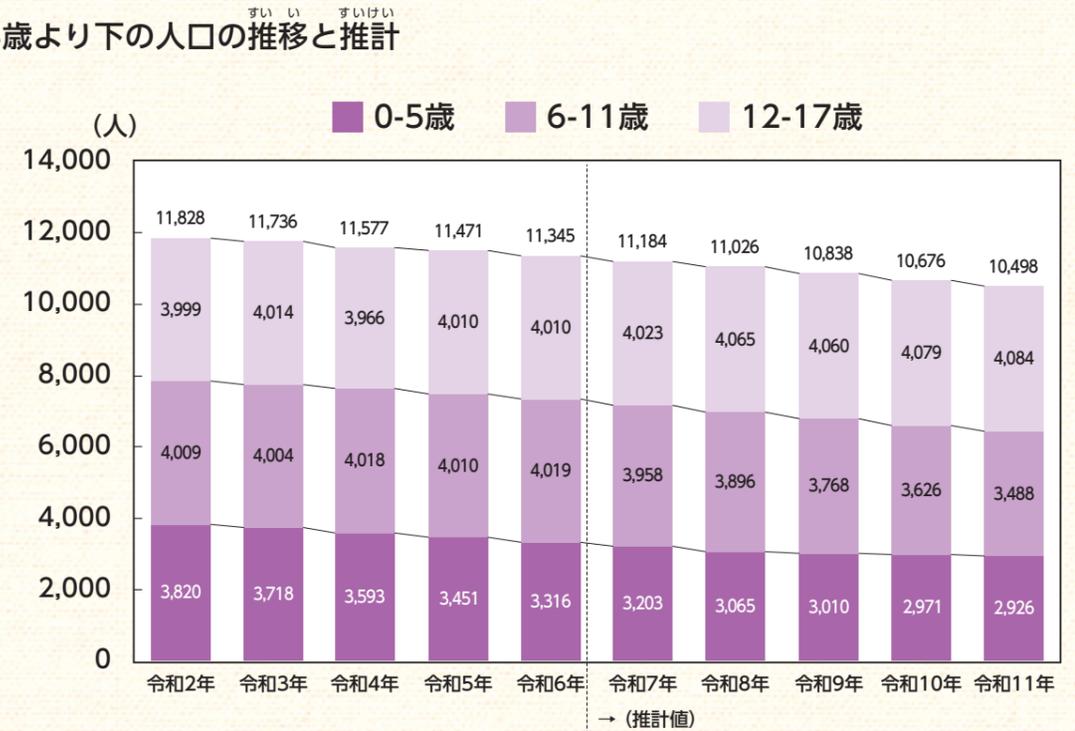
いつまでの計画なの？

2025年度(令和7年度)から2029年度(令和11年度)までの5年間です。
毎年どれくらい進んでいるかをチェックして、必要があれば内容を見直します。



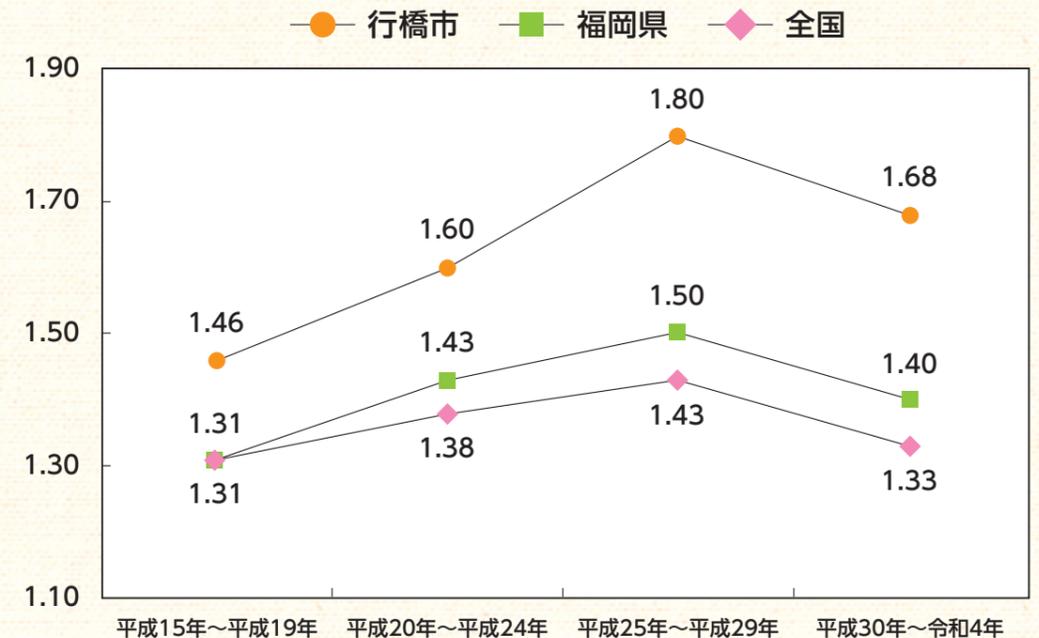
行橋市では、18歳より下のこどもの数が年々少なくなっています。

18歳より下の人口の推移と推計



赤ちゃんを産む人の数も少しずつ減っています。

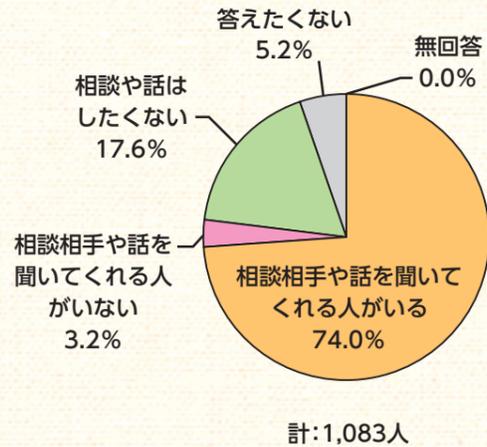
合計特殊出生率(一人の女性から産まれるこどもの数の平均)



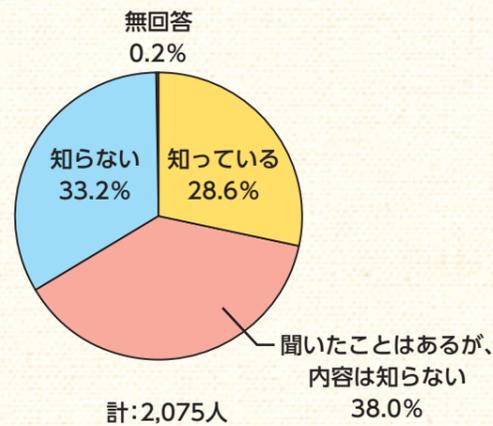
行橋市に住む10歳から14歳の子どもたちへ アンケートを行いました

- 悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいるかをたずねたところ、20.8%が「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」「相談や話はしたくない」と回答していて、誰かに相談したくても、相談できないと感じている人がいます。
- 「子どもの権利」について、71.2%が「聞いたことはあるが、内容は知らない」「知らない」と回答しています。
- 97.7%の人が権利は守られていると回答しています。
- 自分が幸せだと思うかとたずねたところ、93.6%の人が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

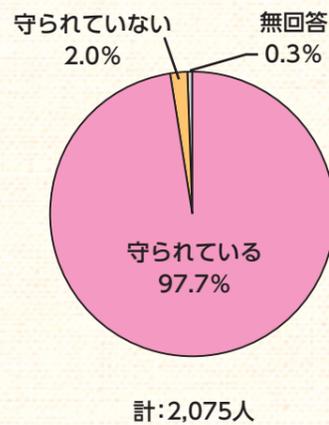
悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。



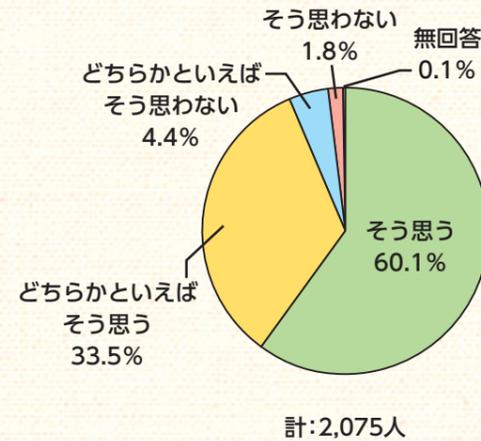
「子どもの権利」について知っていますか。



あなたの権利は守られていると思いますか。



あなたは今、自分が幸せだと思いますか。



子どもの意見を聴くワークショップを開催しました

子どものための計画である「子ども計画」をつくるためには、子どもや若者の気持ちや考えをしっかりと取り入れることが大切です。

行橋市では、子どもや若者がどんな不安や悩みを持っているのか、将来のことをどう考えているのか、市にどんなことをしてほしいのかを知るために、子ども議員のみなさんから直接意見を聞きました。

- 子ども・若者からの意見聴取の実施概要

調査対象	「行橋市子ども議会」に参加する子ども議員16人(小6～中3)
調査方法	ヒアリングシートに基づくグループインタビュー形式
実施日	令和6年7月26日

- ワークショップ当日の様子



【子ども・若者からの意見聴取で出た主な意見(抜粋)】

Q. 休日や放課後の居場所や遊び場としてどのような場所があるとよいと思いますか？

屋内で遊べる施設があるとうれしい！



市民プールやアスレチックなどの体を動かすことができる遊び場が欲しい！

Q. 自分が将来子どもを育てたいと思いますか？

また、どんなサポートがあれば、子育てしやすいと思いますか？

男性の育児休暇の取得をもっと推進してほしい！



継続的な支援金など、子育てや進学にかかるお金を支援してほしい！

子どもの送迎やお世話をしてくれるサービスがほしい！



安心して子どもを預けられる施設やベビーシッターなどを充実させてほしい！

地域で小さな子どもがいる方々の集まる場所があるといいと思う！

基本理念

すべてのこどもが

すこ 健やかに育つことができる環境づくり

みなさんが安心して楽しく成長できるように、行橋市は「子育てしやすいまち」を目指します。

この計画では、「ライフステージを通して取り組むこと」と「ライフステージ別に取り組むこと」のそれぞれでこども施策に取り組み、途切れることなく支援が行き届くようにします。

「すべてのこどもが健やかに育つことができる環境づくり」を実現するために、おうちの方や地域の方、お店や会社、幼稚園や保育園、市役所など、たくさんの人たちが協力しながら取り組んでいます。みなさんの未来がもっとよくなるように、次のような取り組みを進めていきます！

ライフステージ別に取り組むこと



赤ちゃんの誕生前から幼児期まで

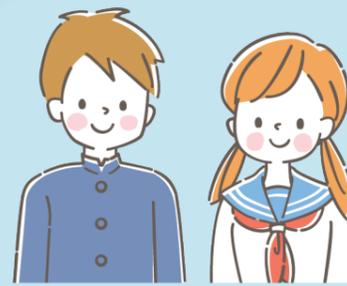
お母さんが妊娠する前から、出産、赤ちゃんの成長まで安心して過ごせるように、医療や子育てのサポートを続けます。



小学生から中学生まで

こどもが安心して学び、過ごせるように、質の高い教育や居場所づくりを進め、いじめや不登校、体罰をなくす取り組みを行います。

心やからだの健康についての正しい情報と相談しやすい環境を整えます。



高校生から大学生、おとなになるまで

若者が自立できるよう、就職や安定した働き方を支援し、結婚や新生活を希望する人へのサポートを行います。また、悩みを抱える若者や家族が相談できる場も整えます。

そのほかに子育て支援として取り組むこと

- 子育てや教育の負担を減らします
- 地域みんなで子育てを支えます
- みんなで協力して子育てしやすい社会へ
- ひとり親家庭を支えます
- 保育所や幼稚園、学校の整備と放課後の居場所づくり



ライフステージを通して取り組むこと

- ★ こどもや若者の権利を大切にします
- ★ こどもや若者がいつでも健康でいられるようにします

- ★ いろいろな遊びや体験ができる場をつくります
- ★ 貧困からこどもを守ります

- ★ 支援が必要なこどもをしっかりと守ります
- ★ こどもや若者の命と安全を守ります

この計画をどう進めるの？



- 市民のみなさんにこの計画を知ってもらうために、^{こうほう}広報やホームページなどでお知らせします。
- こどもや若者の声を大事にして、計画に取り入れます。
- こどもや若者が市のルールや政策^{せいさく}づくりに参加できるようにし、意見がしっかり^{はんえい}反映されるしくみをつくります。学校や地域と協力し、こどもがルールの見直しに関わることで、自分たちのまちをより良くする経験ができるようにします。
- 取り組みを始めてからも、子育て中の保護者や、保育園・幼稚園の関係者、学校の関係者が集まる「子ども・子育て会議」でこの計画がうまく進んでいるかをチェックして、必要があれば見直します。

行橋市は、こどもや若者の意見をまちづくりに活かします

行橋市こども計画では、みなさんの意見を聞くことがとても大切です。

行橋市のこどもが楽しく健やかに育つまちをつくるために、ぜひみなさんの意見を聞かせてください！

アンケートフォーム



〈意見のおくりかた〉

このQRコードをカメラで読み込むか、
次のURLを開き意見を書いて送ってください。

URL:<https://ttzk.graffer.jp/city-yukuhashi/smart-apply/surveys/8659841893128032218>

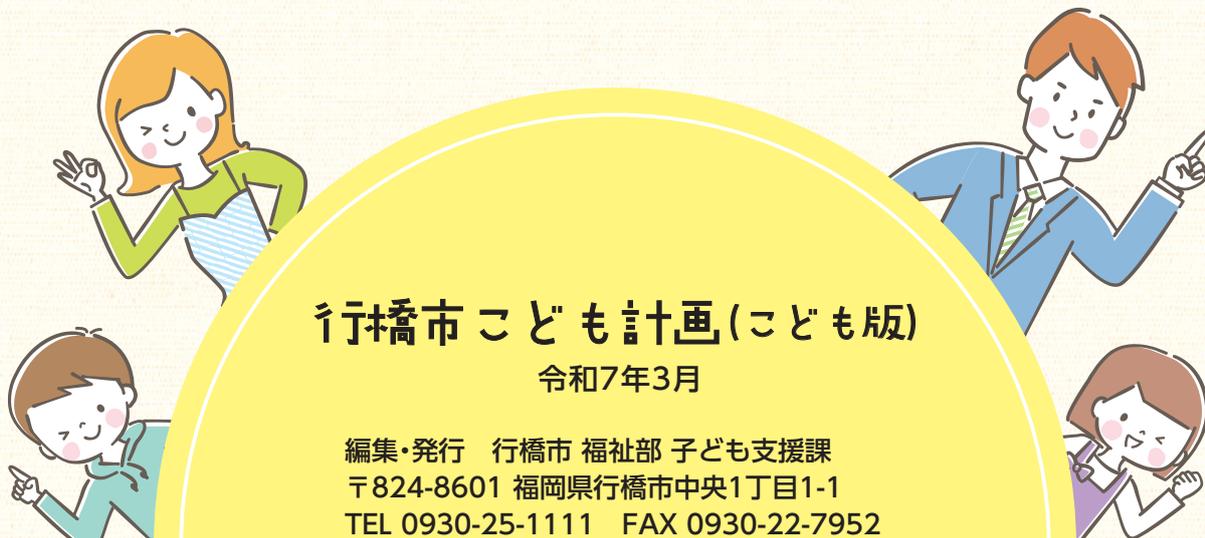
行橋市ホームページ(行橋市こども計画関連)



行橋市子ども計画(計画書、^{がいようばん}概要版、こども版)

アンケート調査結果などが公開されています。ぜひご覧ください。

URL:<https://www.city.yukuhashi.fukuoka.jp/site/kosodate/36185.html>



行橋市こども計画(こども版)

令和7年3月

編集・発行 行橋市 福祉部 子ども支援課
〒824-8601 福岡県行橋市中央1丁目1-1
TEL 0930-25-1111 FAX 0930-22-7952